

愛道

あいどう



トピックス

足羽福祉会 新春作品展

第118号

2015年1月1日発行

新年のごあいさつ



足羽福祉会 理事長
高村 昌裕

新年明けましておめでとうございます。

昨年も社会福祉をめぐるさまざまな出来事がありました。私の中でもっとも大きな出来事は、1月に日本政府が国連の「障害者権利条約」をようやく批准したことです。

社会福祉の歴史の中で、障がいのある方は長い間「保護」の対象ではあっても「権利」の主体とは認めてこれまでませんでした。では障がいのある方の権利とはどんなことをさすのでしょうか？

障害者権利条約では、障がいがあっても他の障がいのない方たちと同じように社会の中で生きる権利として「子どもとしての権利」「女性としての権利」「暴力から守られる権利」「どこで暮らすかを決める権利」「労働の権利」など具体的に列挙されています。本人の障がいが理由となってこうした権利が守られないのではなく、制度・環境や私たちの見方や行動を変えていくことで、人としての権利を果たしていこうという考えです。そしてこの条約には「ピープル・ファースト(People First)」=「障害者である前に人として」見てほしいという当事者の思いが託されているのです。

実はこの考えは、私たちの介護サービスや障害者支援において大切にしている考えに通じています。愛全園や足羽利生苑のサービス提供指針には「その人の生き方に尊

敬を」という言葉が、そして足羽学園・足羽更生園をはじめすべての障害福祉サービス事業所のサービス提供指針には「その人らしさを尊び」という言葉が、それぞれ最初に掲げられています。

私たちの仕事は、ともすれば認知症や知的障害といったその人のマイナスの部分への対応にばかり目を向けがちです。また本人とかかわる時間が長いことから、その人の生活を自分たちだけで支えているとも思いがちです。

しかし「その人の生き方」や「その人らしさ」とは、各サービス事業所の中だけで自己完結するものではなく、家族や社会の中で、さまざまな場所や人とのつながりの中で実現されてきたのです。そして介護を受けるようになっても障がいがあっても、自分らしく生きることを応援していくべきなのです。そのためには、私たち福祉従事者は介護や支援、保育それぞれの分野における専門的技能だけではなく、利用されるお一人おひとりを中心として、認知症や障害者である前に一人の人間として共感し、共に悩み、共に笑い、共に生きていくといった「人としての総合力」=「人間力」を向上させねばなりません。

本年も、利用される皆様と笑顔のやり取りがたくさんできるよう、また地域社会が自分らしく暮らせる安心・安全の場であるよう、職員一同、心を尽くして行動します。何とぞ皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

施設長の「座右のメエ～」



こつこつの
ユツ
今日
自分ができる
精一杯

足羽東保育園
園長 矢納 ともえ

自
灯
明

あすわ就労支援センター
センター長 大館 嘉昭

友
と
生き
友
と
喜ぶ

足羽学園・足羽更生園
園長 嶋田 富士男

至
誠
実
行

あすわ相談支援センター・
あすわ地域生活支援センター・
あすわ児童発達支援センター
センター長 高村 昌裕

徹
底
風
事

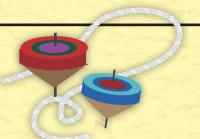
愛全園
園長 滝波 正興

凡
事
徹
底

足羽利生苑
苑長 岩本 昌雄

目次 もくじ

- 2 新年のごあいさつ
- 4 足羽福祉会 新春作品展
- 6 生きいきと若々しくいつまでも … 足羽利生苑
- 8 チャレンジすることのよろこび
～可能性を広げて～ … あすわ地域生活支援センター
- 10 手と手を取って
～連携することの大切さ～ … 足羽学園
- 12 自閉症支援トレーニングセミナーを開催しました
- 13 門松作り/まごころこめて…
- 14 愛のささえ



「表紙について」

デイサービス利用者の方による共同作品(秋の風景)の前でパチリ。いつものとびっきり笑顔の前田さん。私たちに元気をくださいます。
(足羽利生苑 石田)



足羽福社会

The image features large, bold, red vertical calligraphy characters arranged in two columns. The left column reads '作品展' (Art Exhibition) and the right column reads '新春' (New Year). Below the calligraphy is a small, stylized illustration of a traditional New Year's decoration, specifically a 'Kagami-Imo' (rice cake) or 'Kagami-Obon' (rice cake for the dead), which is a common motif in Japanese New Year decorations.



木の実でカップケーキ、
羊毛でクリスマスツリーを作ったよ♪
たくさん自然にふれて遊びました!!



あすわ地域生活支援センター



鹿野省吾原稿題多々經
觀山社叢書錄中錄載其題辭多端贊見又
題首曰廣一哲哲厚倉也予不異幽幽不
異固然是幽幽是而吾獨不識矣亦猶如
吾所忌忌是猶然也相不生不滅不滅不
不滅不滅是故中藏於我與彼亦藏於我
不尋不識是故中藏於我與彼亦藏於我
不尋古不尋古高音歌樂海國歌則不全
肉蕭索無聲也今雖可全聽但以
久遠者僅盡其妙舞譜舞詞未有能復
所據者若將此舞曲與彼同音實難以
更尋観舞論辨舞司伎詩集第一卷
想南薰輕飄三世諸君所聞所謂當多故
舞者猶多難之蓋二事焉或說其如是也
而不知其所以然者亦非易解也夫以
所知而一物無所不知者當無以能解
所知而一物無所不知者當無以能解

先生に教えられながら、一生懸命頑張っています。
表彰もいただきました。

足羽利生苑



かぼちゃの種を使って
秋を表現してみました。



あすわ就労支援センター

足羽学園



毛糸を編みこんで作った
ストラップ。
優しい色合いが
かわいいでしょ♪



貼り絵の中のウグイスが
今にも鳴きだしそう♪
春が待ち遠しいですね!!

足羽更生園



ちぎり絵で桜の花を作りました。
暖かい春が待ち遠しいですね♪

新春特別企画!
利用者のみなさんが
日頃から制作されている
力作をご紹介します。



愛全園



100歳の方の作品。
ほっこり!味がでてますね。

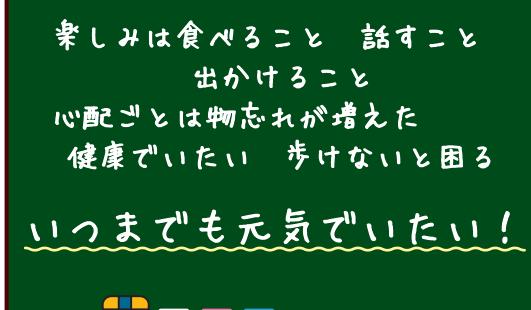


足羽利生苑では地域支援事業の一環として、酒生（さこう）地区の荒木・稻津集落にお住まいで、介護保険サービスを利用されていない方を対象に、リハビリ体験会を開催しています。

足羽利生苑デイサービスホールを活動場所として、集落ごとに曜日を設定し、器具を使つたりハビリの提供や交流の機会を設けています。

「生きいきと若々しくいつまでも、住み慣れた地域で元気に暮らしたい」この思いを大切に、足羽利生苑が取り組んでいるリハビリ体験会をご紹介します。

張りのある生活を送りたい



で「健康への意識が高く、運動習慣がついている」との結果が出ています。

そこで地域リハビリに来ていらっしゃる方を対象に、運動・趣味・食生活についてアンケート調査を実施しました。その結果から「楽しみを持つて毎日張りのある生活を送りたい」という思いが伝わってきました。

リハビリ体験会が実施される13時半ごろになると、デイサービスの一角のリハビリ室がとてもにぎやかになります。「今日は腰が痛くて痛くて温めると楽になるかな」という思いが伝わってきました。

「最近忘れることが多くて困るわ」と思いおもいに話をしながら、体の状態を記録用紙に記入していきます。

ある日のリハビリ体験会に参加された方は女性10人。近所の顔なじみの方が集まり、お茶を飲みながら世間話をすることから始まります。職員は前回の状態と変わらないが、困ったことや心配ごとがないなど、さりげなく聞いていきます。

「日中は一人でいるから話すことが少ない。月に1回でもここに来ると知り合いと話せてうれしい」とおっしゃる方が多いようです。



みんな準備OK?



さあ、頑張ろう。



「私は腰が痛くって」といふ方には、患部を温めて痛みを軽くするホットパックが人気です。一度に4人の方に行なうことができるので、仲良しお話しながら、時間を夢中で話しながら、時間を過ごされています。

う方には、患部を温めて痛みを軽くするホットパックが人気です。一度に4人の方に行なうことができるので、仲良しお話しながら、時間を夢中で話しながら、時間を過ごされています。

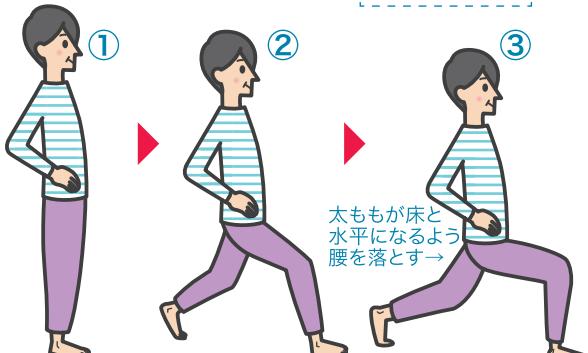


レッドコードを使って… 背中が伸びて後ろ姿から若々しく

いつまでも自由に動ける体をつくるための
簡単エクササイズをご紹介します。

下肢の柔軟性をアップ

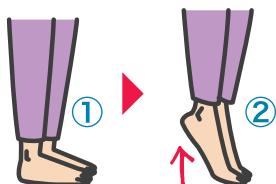
前方踏み出し



- ①両手を腰に当てて胸を張り、真っすぐに立つ。
- ②片脚をゆっくり大きく前に踏み出す。
- ③太ももが床と水平になるよう腰を深く落とし、体を上げて踏み出した足をもとに戻す。もう片方の脚も同様に。
(左右それぞれ5~10回ずつ)

ふくらはぎの筋力をアップ

かかと上げ



- ①両足で真っすぐ立つ。
- ②かかとを上げ、ゆっくりおろす。
(5~10回繰り返す)



岩盤浴で足湯気分!いい気分!

楽しみは…
ティータイム



生きいきと若々しく
いつまでも



同じ地域に住んでいてもなかなか顔を合わせることがないとのこと。月に1回の地域リハビリを交流のよい機会と捉え、積極的に参加される方が増えてきています。「ここに来ると本格的なリハビリ器具を使った運動がで

きるから楽しみ」「自宅でもできる体操や、気をつけるといいことも習える」との声もあり、リハビリ器具の専門知識を持つたインストラクターの方を講師に招き、リハビリ器具を使った運動を指導していただきました。正しく器

具を使ってどの部位に効果があるのかを解説いただきながら、リハビリに取り組んでいらっしゃいました。

できるから楽しみ」「自宅でも

具を使つていい時間が過ごせよかつた」「何回できたかな」と、自分が行つたリハビリマシンの回数や時間を記録用紙に記入し、本日のリハビリメニューは終わりになります。お好きな飲み物とお茶菓子を食べながら、おしゃべりに花が咲きます。

足羽利生苑の施設を使つたりハビリ体験会の参加を機に「生きいきと若々しくつまでも健康でいられるよう、顔なじみの人と集い、楽しく過ごせるところ」と、地域の方々が集える場として定着し、地域に根ざした施設を目指します。

チャレンジすることのよろこび

～可能性を広げて～



* グループホームこもれび *

平成26年4月1日にあすわ地域生活支援センターの11ヶ所目のグループホームこもれびが開所され、現在10名の男性利用者の方が生活されています。こもれびでは、自宅での生活に近い雰囲気で生活をしていただけるよう日々支援を行っています。今回は、こもれびで生活を始めて一人で買い物に行けるようになったTさんについてご紹介します。

こもれびの利用者の方の多くは、今まで施設における大人数の中での集団生活だったため、なかなか自分たちの望む生活をすることが難しい現状がありました。ところが、グループホームでの少人数の生活に変わったことにより、利用者の方は色々な生活に対する思いを職員へ伝えて来てくださるようになりました。職員は、利用者の方の希望する暮らしを一つでも多く実現し、利用者の方の思いに寄り添う支援を行うことを目標に日々奮闘しています。

こもれびは、福井市東部に位置し、ドラッグストアや喫茶店などが徒歩で行ける距離にあります。この地域性をうまく活用し、余暇支援にも力を入れています。土日の休みには、外食や遠方へのドライブ、地域の行事に参加

思いに
寄り添つて



するなどの取り組みを始めています。



Tさん 50代

身の回りのことは自分でできるが、言葉にして相手に伝えることは難しい。

コミュニケーション方法

<ジェスチャー>

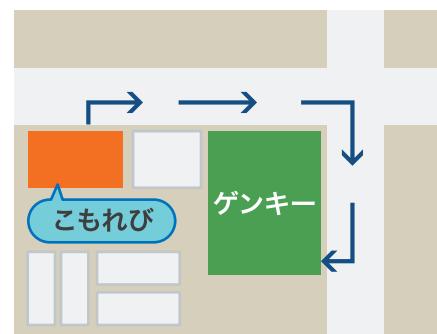
- 両手を前でぐるぐるする
⇒キッチンペーパーが欲しい

- 飲む仕草

- ⇒飲み物が欲しい

最初に始めた取り組みは、Tさんの一人で買い物に行きたいという思いの実現です。自宅にいる時は、一人で買い物に出かけているということをご家族から伺い、こもれびでも徒歩で行ける一番近くのドラッグストア「ゲンキー」へ一人で買い物に行けるようになることを目標に設定しました。

まず、ドラッグストア「ゲンキー」の店長さんにこもれびの場所と、こもれびがどのようなところなのかを説明し、Tさんが今後一人で買い物ができるよう支援をしていくことをお伝えしました。



思いの実現



①商品選び



②会計



③こもれびまで帰宅

Tさんは、しゃべることができず自らの思いをジェスチャーや文字で伝えて来てくれる方です。買い物初日は、Tさんが使うキッチンペーパーがなくなり買いに行きたいとTさんより訴えがありました。そこで、キッチンペーパーを2つ買ってきてくださいと伝え、財布に入れて、お金も2000円に増やして出かけていただきました。

しばらくして様子を見に行くと、購入予定以外の商品をかごに入れていたため、

Tさんは、しゃべることができず自らの思いをジェスチャーや文字で伝えて来てくださる方です。買い物初日は、Tさんが使うキッチンペーパーがなくなり買いに行きたいとTさんより訴えがありました。そこで、キッチンペーパーを2つ買ってきてくださいと伝え、財布に入れて、お金も2000円に増やして出かけていただきました。

お金が不足していました。職員が間に入り購入することはできましたが、これをきっかけに買い物へ行くときに

は、まずTさんに買いたい物は何かを聞いて『お金が不足して困ったときやトラブル時の連絡先にTさんの名前と、こもれびの電話番号が書かれたカード』を財布に入れ、お金も2000円に増やして出かけていただきました。

利用者の方の思いを実現するためには、一人ひとりの得意なことや好きなことに目を向け、利用者の方の力を十分に活かせる支援の方法を考えていくことが今回の取り組みを通して重要なと

に、今後もより一層さまざまなことにチャレンジし、利用者の方が笑顔で過ごしていただけるよう支援を行っていただきたいです。

望を叶える架け橋となる役目を担っています。利用者の方の生活の充実を図るために、今後もより一層さまざま

一歩一歩



以上の方方法をとるようになり、現在では月5回程度買い物に行かれ、トラブルもなくうれしそうに買い物から帰つて来られています。



地域で「ご本人らしく暮らせる」よう私たち職員、利用者の方、共に安心・楽しみをもつて成長していくたらと思っています。

あすわ地域生活



生活支援員 辻本 弘治
支援センター

グループホームこもれびが開所してから早いもので9か月が過ぎました。

開所当時、利用者の方は環境が変わり、とまどいが見られましたが、現在はこもれびでの生活にも慣れ、買い物外出に行ったり、こもれび内でもリラックスされたりして過ごされています。

これまでの段階を踏んで支援を行っていくこと、それが利用者の方にとつての第一歩になると思います。

職員は、利用者の方の希



- 利用者の方の成長を目にはすることは、ご家族の方だけではなく私たち職員もうれしいものです。
- 成長のために支援が必要な場合もあります。今回は特別支援学校と連携した取り組みについて
- ご紹介します。

成長に欠かせないもの一つに、歯磨きがあります。食べるだけではなく、食後に歯磨きをして、歯を健やかに保つことも成長には必要です。

足羽学園の利用者の方の中には、歯磨きが苦手で歯ブラシをくわえるだけの方や、すぐに終わろうとして丁寧に磨けない方がいます。しかし、何度も繰り返し練習していくことで、少しづつきるようになっています。

今回取り上げるのは、現在中学部3年生の川越信一さんです。歯ブラシを動かすことはできるものの、適当に終わらせてしまうので、職員が付き添つて歯磨きをしています。



場所と時間が示されています

そこで、個別支援計画に基づいた支援を行う中で『全体を10カウントずつ丁寧に磨ける』よう、自分でカウントしながら磨いていました。しかしある程度磨けてはいるものの、どこを磨いているのか意識ができていないようでした。そこで、本人に意識をしていただけるよう、またどれだけ磨けばよいかわかるよう、視覚情報を用いるようにしました。



何とかできないか。学校ではどのように支援をしているのだろうかとの思いから、特別支援学校との連絡会で支援方法について伺いました。すると、足羽学園で使用していたものとは違う視覚情報、デジタルのタイマー、マグネットを使用しているということを知りました。

	①	②	①、②の状況
17	○	○	
18	△	△	集中できず…。
19	△	○	①集中しておらず。
20	△	○	①集中してない。 ②上手にできてない!!
21	△	△	①集中していない
22			

①が歯磨き、②は洗面について



新しい視覚情報!

ので、自らタイマーのセットをして、磨く位置が示されているイラストのところにマグネットを動かし、歯磨きを始めたのです。私たち職員が最初に驚いたのは、川越さんがタイマーを使えるということでした。足羽学園では、支援の際にあまりタイマーを使っていないので、川越さんが自分で使えるということを知らなかつたからです。

そしてこの方法ではダイマーを使うため、川越さん自身が数を数える必要はない、歯ブラシを動かすことに集中できます。また磨く位置については、マグネットを動かすことでの磨きやすさに意識しやすいようになつており、これまで使用していくものよりも川越さん

なせなら磨いている途中で口を閉じて歯ブラシを吸つていたり、タイマーの秒数が気になり磨くことに集中できていなかつたりしているからです。

しかし今回のことと、関係機関が意見を交わすことにより、利用者の方の新たな発見や成長につながるということを実感しました。そして、職員の統一した支援はもちろんのこと、ときにはご家族と連携や協力も必要になります。それらが合わさることで、より多くのことを実感することができるのです。

ことで、利用者の方の成長につながるということを信じ、これからも個々の段階に沿つた支援をしていきたいと思います。



自らタイマーを使っていきます



〔川越さん母より〕

私たちでも、しつかり歯磨きができるいると思つていても、歯科医に行くと磨き方の指導をされることがあります。丁寧に磨くことは簡単なことではないですね。

でも、できるだけ長く自分の歯のままでいてほしいです。義歯でも食事はできるけれど、自分の歯で吃べる方がきっと、おいしく感じるだろうと思うので。

それに息子は、歯科医での治療の音が苦手なので、思うように治療が進みません。苦手な治療をしないでいるためには、今のうちからしつかりと歯磨きができるようになつてほしいですね。

以前よりも少しづつできるようになつてきているのはうれしいですね。これからもよろしくお願ひします。

～自閉症支援の輪を広げるために～ 自閉症支援トレーニングセミナーを開催しました

セミナー概要

去る、平成26年11月8日(土)9日(日)の2日間、足羽福祉会法人本部の研修センターにて「福井県自閉症支援トレーニングセミナー2014」を開催しました。このセミナーは福井県発達障害児者支援センター「スクラム福井」様が、2007年から自閉症スペクトラム障がい(以下自閉症)の支援者を養成することを目的に実施されておりましたが、昨年度よりそれを引き継ぐ形で当法人が実施することになりました。

開催にあたり、運営のノウハウをスクラム福井様にご教授いただきたり、スクラム福井様が参考にされたという「京都市発達障害者支援センター」様を見学させていただいたりして準備を進めてまいりました。

自閉症の利用者の方に、実際にモデルとなっていただきました。ご協力ありがとうございました。



セミナーの特徴①

一つ目の特徴は、単に講義を中心として新たな知識を得ていくだけではなく、当事者である自閉症の利用者の方にご協力いただき、講義で得られた知識を基に受講生で作られたグループにて協議しながら、その場で実践していくことです。各グループにはトレーナーが1人付き、指導と助言を繰り返していきます。受講生は18名ですが、それらを取り巻くスタッフは19名と一見非効率なように見えますが、専門的な支援を学ぶ環境を整えるため、このような体制で行っています。

現在の福祉を取り巻く環境では、1人の利用者の方を1施設・1事業所が支えていくということは困難です。ご家族などはもちろん、他の福祉事業所、教育、医療、行政などの各機関の持っている専門性を重視しながら、共通認識のもとその方を支えていくことが大事になってきます。そのためこのセミナーはチームとして協働し実践していく経験を養うプログラムとなっています。



セミナーの特徴②

二つ目の特徴として「評価」が挙げられます。その方を支援していく上で正しい評価のもと、計画的に支援していくことが重要になって



きます。誤った評価や職員によって異なる評価ではチームでの統一した支援はできなくなります。ですから評価を行う前もどの部分に着目して行うかを協議した上で実施し、それぞれがとった評価についてもチーム内で活発に議論がなされます。どうすれば利用者の方の理解がスムーズにいき、混乱なく活動できるのかということについて再度チーム内で考えていきます。

リラックスした雰囲気で

利用者の方には、事前にいただいていた資料を基に安心して過ごせるように、トレーナーを中心としたレイアウトしたエリアで過ごしていただきました。個別化されたスペースで見通しがもてるスケジュールに沿って過ごしていくことで、徐々にリラックスしていく様子が見えました。理解して活動することは、安心して過ごすことにつながっていくと改めて実感しました。



支援の輪を広げるために

受講生のみなさんのご所属は福井県を中心に障がい福祉サービス事業所や医療機関・学校と多岐に渡っています。特有のコミュニケーション方法を理解することは、当事者の方と支援者とのキャッチボールを可能としていきます。そしてそれを続けていくことで信頼関係も築くことができ、社会とのつながりも増えていきます。今後もこのようなセミナーを継続することで、当事者の方々を支援する手が増え、その手と手をつなげて大きな輪となっていくことを期待しています。

足羽学園 課長 渡辺 浩基

門松作り

足羽利生苑デイサービスセンターには、地域の方が毎年門松を作りに来てくださいます。今年も立派な門松が来苑される方を迎接してくれます。



南天は「難を転ずる」という意味があります



1本の竹を3本に切って使います



立派な門松ができあがりました



男結びをしてじつかり束ねます

まごころこめて届けます♥～議会食堂あすわ～



一番人気

べっぴんランチ(日替わり定食)
メイン+副菜3品+デザートで600円

あすわ就労支援センターが委託運営している

「議会食堂あすわ」のご紹介をします！

議会食堂では手作りヘルシーメニューを中心とした、べっぴんランチの他に月一回の季節を味わえるイベントも実施中です★

メニューの盛り付けは利用者の方が中心となって行い、お客様においしく召し上がっていただくために日々奮闘しています😊

愛情たっぷりのごはんをぜひご賞味くださいね^^



議会食堂あすわ

検索

詳しくは FacebookやAmebaブログにて★

毎月第2・4金曜日は、福井県庁1階ホールにて、お弁当販売も行っております。/

愛のささえ

ご協力ありがとうございました

平成26年9月1日から平成26年11月30日までの方々を掲載させていただきました。

順徳地区社会福祉協議会 青山孝行
仁愛女子高等学校 有吉田金属株
三輝設計事務所
(ボランティア・交流・訪問)
小林順子 伊戸桂子 増田花子 大
杉ギク工 坂井洋子 江川麗子 井
上百成子 高山ヒロ子 西尾香奈子
近藤善勝 片山千代栄 中谷まゆみ
内山由紀 工藤かおり 佐々木知恵
樹 杉原幸司 鍋谷ひかり 高村夏
生風 高村紺妃紀 道願隆明 稲本
凌 広瀬智大 中村めぐみ 北村政
義 鈴木睦美 五十嵐みはる 吉田
正明 上野孝次 竹村勉 浅田義和
河村瞳 土岡慶子 大杉禮子 吉岡
慶子 大倉ちづ子 勝見真理 吉田

**足羽第一中学校 室賀玲奈 吉本菜緒
順化地区社会福祉協議会 中野憲利
【あすわ就労支援センター】
(寄付・寄贈)
梅田健一
(ボランティア・交流・訪問)
高村智子 松原智子 畠節代 大島
定子 野路純子**

[足羽東保育園]
(ボランティア・交流・訪問)
宮川定幸 競田喜と美 森田靖斎
上文殊公民館 上文殊幼稚園 上文
殊小学校 福井市文化会館 福井市
東体育館 福井県立図書館 和田ミ
二交通公園 太閤山あおい園
(研修・実習・見学)

(ボランティア・交流 訪問)
啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ボランティア 啓蒙民謡クラブ ラブ 福井市赤十字奉仕団 よ子 花龜会 中嶋安子 鈴木陽子 熊谷三和子 石川幹子 山下敏子 山下敬子 野節子 杉本信子 東新保ボランティア 丸山ボランティア 浅川静枝 福井ばら会 福井県自立促進支援センター 福井県医療福祉専門学校 福井県立看護専門学校 福井農林高等学校 オカリーナボルテ 永平寺町社会福祉協議会 浅見雅楽会 ハーフラブリー 仁愛女子高等学校 福井県観光営業部觀光促進課 文書部 福井県観光営業部觀光促進課

(株)三輝設計事務所
大橋たつえ 大橋真理絵
【あすわ児童発達支援センター】
(寄付・寄贈)
金森貴範 岡部一彦 三澤克史 大
田晃士郎
(ボランティア・交流・訪問)
源野京子
(研修・実習・見学)
ぱると療育室 本郷小学校 仁愛幼稚園
福井大学 野坂の郷 パラレル
丹南地区自立支援協議会 育つ部会
福井市教育委員会 坂井市教育委員会

（研修・実習・見学）
優希
仁愛女子短期大学 日本福祉大学
大原キャリアビジネス＆ペット専門
学校 齊藤愛 道願隆明 高山雄一
経岩廣貴 福井県立大学
【あすわ地域生活支援センター】

(研修・実習・見学)
福井県医療福祉専門学校 大原ス
ボーツ医療保育福祉専門学校 (株)グ
レー日本大学 金城大学 福井市立
県立看護専門学校 福井市医師会看
護専門学校 成和中学校 福井県立
大学 仁愛大学 福井県社会福祉協
議会

【**グループホーム美山**】
(寄付・寄贈)
小嵐龍夫 家接忠
(ボランティア・交流・訪問)
オカリナデユオおひさま 岩崎敬一
順不同・敬称略

自治研究所 福井県認知症介護実践
坂井市春江町民生児童委員協議会
[足羽利生苑]
(寄付・寄贈)
宮下貞雄 松原誠 酒生郵便局
(ボランティア・交流・訪問)
福井市赤十字社奉仕団 丸山グループ
まーまれーど美容室 宇都宮友美
美容室俱楽部浜田 戸嶋聰美 児玉千尋
美子 本田幸雄 梶洋枝 オカリーナ
ナポルテ 野坂幸雄 加畠良宏 高橋政廣
嶋政廣 AOB本谷成美 中嶋正子
山崎正和 真心流小桜久光 スコット
ブ三味線吉村 福井県医療保育福祉専門
学校 大原スポーツ医療保育福祉専門
門学交 福井県立大学 ガーラックス

課國際グループ ハーモニカ同好会
北山國雄 福井絵本クラブ 啓蒙小学校
学校 啓蒙公民館 啓蒙保育園 鶴扇会
扇会 もみじ児童館 愛全園文化祭
作品展示有志 同
(研修・実習・見学)

木村（愛） しみな今日この頃なんです！

- 最近生きいきと活動されている方がすごく気になります。その秘訣はおいしいものを食べてたくさん話して毎月忘年会があると元気一杯になれるかも。石田（利）
- 未年にあたり、ウールのようであつたかい心で今年もよろしくお願いいたします。川縁（本）
- 今年も3月22日に「足羽川ふれあいマラソン」開催でございまます。皆さまのご支援・ご協力ををしてご声援をよろしくお願ひ申し上げます。
- 安田（本）

- 新しい年が始まりました。今年も、仕事もプライベートも充実した1年になりますように☆
- 新しい年になりましたね!!おめでたいですね☆「今年のお願い」とが叶うように、頑張ります!!☆
- 今回初めて原稿を任され不安で不安でしたが、無事出来上がりほっとしています。新年を迎え、また一年充実した毎日を送りたいです。
- 雪が降つて…雪かきは煩わしい

編
集
後
記

社会福祉法人 足羽福祉会	http://www.asuwafukushikai.jp/	法人本部 福井県福井市梅野町20-7 TEL(0776)41-3108
足羽東保育園 福井県福井市東大味町10-1-1	TEL(0776)41-3122	あすわ児童発達支援センター 福井県福井市大和田1-1607 TEL(0776)53-3330
あすわ就労支援センター・あすわ地域生活支援センター 福井県福井市梅野町20-5	TEL(0776)41-3795	愛全園 福井県福井市丸山町40-7 TEL(0776)53-5411
足羽学園・足羽更生園 福井県福井市宿布町19-46-1	TEL(0776)41-3120	足羽利生苑 福井県福井市梅野町20-7 TEL(0776)41-3121
あすわ相談支援センター 福井県福井市成和1丁目1009-2	TEL(0776)88-0001	グループホーム美山 福井県福井市美山町6-1 TEL(0776)90-3330